学生企画 実施レポート

『お菓子なメイド館へようこそ！～メイドさんに聞く好きを形をすること～』

主催者:安藤麻衣子

開催日時:2024 年度 2 月 20 日(木)

メインゲスト:メイドキッチンカーNarrative メイド長きい様

当企画は「コンテスト」と「講演会」の二つを軸にした企画だ。コンテストは 12 月 16 日～1 月 29 日の約一ヶ月半行い、講演会当日に結果の発表を行なった。

講演会ではキッチンカーを創設した理由やこだわりや夢を現実に落とし込むまでの体験を聞き、アフタートークではお茶会を開いた。

成果

- ① ビジネスのいろはを学べた
- ② 聴講者に楽しんでもらえた
- ③ メインゲストと双方の利益が生まれた

課題

- ① スタッフが少なかった
- ② 講演会の内容をはっきりと決められていなかった
- ③ スケジュールや講演会の構想しっかりと作成できていなかった

特に課題について言及する。

- ① 「なんとなく協力してくれる人」のみを多数集めていた結果である。あまり作業内容を公開するものではないと考えていたためにこのようなことが起こってしまった。作業事前に担当教員から複数の班とこれに複数の人数が必要であることを告げられていたが、主催と副主催で完結できると考えていたこともある。しかし、講演会当日に返って何も知らされていない人が大多数になってしまった。このことから、実際に行動する場面は少なくとも作業内容の周知が重大になると考えた。
- ② こちらはメインゲストに講演会の内容をほぼ全て委託してしまったことによる。講演自体は四十五分を計画していたが、メインゲストが講義に不慣れなこともあり約半分の時間で終わってしまった。緊急で質疑応答を開くなど対応をしたが、あまりにぎこちないものになってしまった。予め講義の内容を聞いておきこちら側でも構想しておくことと、講演会の時間が前後した場合にどうするかを事前に決めておくなど対策が求められる。
- ③ どちらも決めてはいたものの曖昧な状態で、上手く共有できていなかった。結果、協力者が講演会当日どのように動けば良いのかが分からず手持ち無沙汰になる状況だった。特に、講演会の会場デザイン案が曖昧なままだったことが課題だ。当日どのようなものを持ってきて、どのように飾りつけるかまで必ず決定することが求められる。スケジュールについても、作成があまりに直前になってしまった上、この共有が上手く行ってなかったが故にスタッフも状況判断が難しかった。講演会

当日のスケジュールは少なくとも一週間以上前から決めておくこと。加えて、企画全体のスケジュールは広く共有しておくことが求められる。

補足:先方からの返事が遅れている場合にはこの日までに返事が無ければ追加で連絡を入れるという対処も必要になる。今回の場合は三日がマストだろう。遅れた結果、コンテスト開催も当初のスケジュールから大きく遅れることとなった。